



国内アウトリーチ レポート

2016/7/6-7/11



余市・留寿都

旭川

弘前

余市・留寿都 アウトリーチ

2016/7/7-7/11



<余市&留寿都チーム>

7月7日(木)

- 7:40 ディナーショー
- 8:15 学院出発
- 9:30 余市のコープで買い出し
- 10:10 余市カナンの丘キリスト教会に到着
- 10:30 教会のまわりの地域をプレーウォーク
(祈りの歩行)
- 12:15 教会に戻る
- 13:00 昼食
- 13:45 余市カナン農場でさくらんぼ狩り(～16:00)
- 17:00 鶴亀温泉(～19:00)
- 20:00 夕食
- 21:30 ディナーショー



7月8日(金)

- 7:30 朝食
- 8:00 ディナーショー
- 9:40 余市北星高校を訪問、高校のまわりをプレードライブ
(～10:50)
- 11:00 赤井川村を観光ドライブ
- 12:30 昼食
- 14:00 余市丸山公園で賛美
- 15:00 余市町の中心で伝道 子供6人が救われる!
- 16:00 鶴亀温泉
- 17:30 夕食
- 20:00 祈り会
- 21:15 交わり
- 22:30 ディナーショー



7月9日(土)

- 7:30 朝食
- 8:15 ディナーショー
- 9:00 掃除
- 10:00 積丹へ出発
- 11:30 ビーチで祈り
- 12:00 神威岬到着、昼食
- 13:00 神威岬観光
- 14:00 留寿都村へ出発
- 15:50 シオンクリスチャンセンターに到着、賛美、交わり
- 18:00 留寿都温泉、買い出し
- 20:00 夕食
- 21:00 ディナーショー





7月10日(日)

- 7:30 朝食
- 8:00 デイポーション
- 11:00 日曜礼拝の奉仕(賛美、説教)
- 12:15 CSの奉仕
- 13:00 昼食
- 14:10 集会(賛美、学院生の証し、祈り)
- 16:00 交わり
- 17:00 佐久間先生と夕食(外食)
- 18:30 教会で佐久間先生ご夫妻と
姉妹に預言で励まし
- 20:15 真狩温泉
- 21:30 デイポーション

7月11日(月)

- 7:00 朝食
- 7:45 デイポーション
- 8:15 掃除
- 9:00 薪を運ぶ作業の手伝い
- 10:30 トラクト配布
- 11:00 ニセコへ出発
- 12:00 昼食(高橋牧場)
- 14:00 学院へ出発
- 15:15 余市で休憩
- 17:00 軽食(石狩のロイズ)
- 18:00 学院に到着



שלום



1年 佐藤 メグミ

ハレルヤ シャローム！主の御名を崇めます！

今回4泊5日のアウトリーチで北海道の余市とルスツ村に行ってきましたシャロームチーム。アウトリーチ中は毎日朝と夜はみんなとデボーションの時をとり分かち合いをしました。聖書箇所は1ヨハネ全体と1ペテロでした。1日目は余市に到着して午前中はさっそく町の祝福を祈りながらプレイヤーウォークをしながら数少ない人たちに伝道し、農家のおばさんのために祝福を祈ることができました。午後は和田先生の畑でさくらんぼ狩りをさせていただきながら、一人ひとり聖書で言う収穫や実を結ぶこととは何かを体験して理解を深めました。

2日目は余市にある北星高校のスポーツ大会に行くことが出来ました。最初に係りの人が私たちに学校のことを説明してくださって、学校の方針がキリスト教で比較的弱い立場にある高校生だれでも受け入れる学校であることを知れました。その後係りの人は私たちをスポーツ大会と学校案内をしてくださいました。その時北星高校の様々な高校生の様子を見れました。みんなとは言えないかもしれないけど、大体の学生さんがおしゃれしてすごい派手で好きなように生きて来ている幸せなはずにも関わらず、彼らはとても悲しく虚しそうでした。第2体育館には大きな十字架がありました。学生さんたちがどんな風に生きてきたのか今はどんな人なのかとか関係なく十字架は差別も区別なくそこにいたすべての人のためであることを感じました。十字架を通しての愛のメッセージを受け取ったのですがそれと同時に神様の愛を必要としながら、それを知ろうとも受け取ろうとしないで苦しんでいる学生さんを見て魂(心)が悲しみに覆われました。その後それぞれそこで受け取ったことを車に戻ってシェアして、北星高校の周りでプレイヤードライブをして、哀れみ、感謝、賛美の祈りとみ言葉を宣言しました。宣言したみ言葉は私たちのチームに預言されてた、民数記21:17-18でした。"その時イスラエルはこの歌をうたった。「井戸の水よ、わきあがれ、人々よ、この井戸に歌え、笏と杖をもってつかさたちがこの井戸を掘り、民のおさたちがこれを掘った」…"元々北星高校はキリスト教であったがその井戸を掘り起こすことが必要であった。そしてそうした時に私が感じていた全ての悲しみや虚しさ、悪の束縛からの解放が与えられて喜びが湧き出ました。目に見える働きはなかったけど、廃棄の危機にあったこの高校も私たちが行く1日前に存続することになって、新しいこと救い解放が起こることを信じて北星高校のため祈ります。午後は余市の中心へ行き伝道とトラクト配布しました。そこでは文ちゃんと拓実くんのチームが小学生と出会い福音を語り救いの祈りをしていっきに6人の子供たちが救われました。ハレルヤー！シャロームチームの目標はアウトリーチで最低5人を救いに導くことでしたので目標も達成出来て素晴らしい時となりました。

夜は和田先生の教会、カナンの丘キリスト教会の祈り会で奉仕をさせていただきました。賛美、未優ちゃんが油注ぎをうけて証して、拓実くんは愛についてのショートメッセージをして、文ちゃんは祈りのリードをしました。地域や教会を祝福し、教会員と交わりして神様の家族であることを喜びました。

3日目は積丹の神威岬の駐車場に到着して昼ごはん食べてから雨が降って来ました。せっかく来たのに見れずには帰れないと思い、「主よ晴れさせてください」と祈ったら、雨がやみ最終的には晴天で綺麗な景色を楽しめました、ハレルヤー！

午後はルスツ村のシオンクリスチャンセンター教会に着きました時、私たちを温かく迎えてくださいました。その後教会の歴史や地域の霊的な束縛などをお聞きしました。少しみんなで祈る時をとり、また賛美をしてその町を祝福しました。教会はとても綺麗で賛美しやすく心が温かくなり神様の臨在を感じました。午後のデボーションでは神様が一人ひとりに語ったことをシェアして、示された点は日本の教会への励ましと祝福の祈り、失われた魂の救いそして次の日の主日礼拝のためへの祈りでした。シャロームチームはみんな心をつなげて祈りました。

4日目は日曜日でシオンクリスチャンセンター教会の主日礼拝で奉仕させていただきました。礼拝が始まる前に久しぶりに教会へ来た兄弟がいらっしゃって私たちの祈りは聞かれたと感謝で心が一杯になり涙が溢れました。賛美奉仕でギターを弾くのはアウトリーチで初めての体験だったので緊張しましたが神様の油注ぎがあり一曲目から会衆のみなさんが声高く主を賛美することが出来た素晴らしい時でした。和田先生のメッセージは十字架の3つの祝福というテーマでした。一つ目の祝福は許し、二つ目天国、三つ目立場の交換ということでした。神様の愛は素晴らしいことを改めて知れました。午後は学生一人ひとりの証を聞く集会が開かれてみんなクリスチャンホームでしたが神様とどのように出会いそして献身したのかを証して、二回目聞いた私も励まされました。集会の最後には教会、地域また牧師先生のためにみんなで祈りをしました。その時神様の臨在と愛で満たされました。教会のみなさんも私たち学院生のために祈ってくださった時、個人的に神様が私をこの国に召し出したことを改めて感じる事が出来ました。感謝します。教会のみなさんと交わりもして本当に良い時を過ごせました。5日目は感謝の1日を過ごすことが出来ました。朝から夜までアウトリーチ中で起きた全てのことに感謝しました。私の主イエス・キリストは今も生きている。ハレルヤ！日本の時は今だ。主の御名を賛美いたします。



ALPS 和田 一喜

私たちのチームは余市&留寿都にアウトリーチへ行きましたが、素晴らしい実を見ることができ、本当に感謝でした。余市では魂の救いを見ることができ、留寿都では教会を励まし力づける働きをすることができました。バランスが取れたものになったと思います。私たちは5人以上の人を救いに導き、教会を励ましたいという願いと祈りをもってアウトリーチへ出て行きましたが、その両方の祈りが答えられました。私は神様の働きに感謝しつつ、正直驚いています。これはチームが一致して働くことができた結果だと確信しています。それぞれの賜物が生かされ、美しい実が結ばれました。いつも祈りと賛美で満ちていた素晴らしいチームメンバーと一緒に奉仕できたことを嬉しく思います。

余市ではまず教会のまわりをプレーウォーキング（祈りの歩行）しました。祈り心をもって、1時間半くらい歩き、地域の人たちと話すことができました。それから午後は私たちが経営している余市カナン農場へ行き、さくらんぼの収穫の体験&お手伝いをしてもらいました。皆が収穫を楽しみつつ、農作業をイエス様の話されたみことばと関連づけ、有意義な時になったようなので良かったです。

2日目の午前はミッション系の学校である余市北星高校を訪問しました。この日はスポーツ大会の日でした。北星高校は廃校の危機にあります。このタイミングで高校を訪問できたことは大きなことだったと感じました。高校生たちとの交流はできませんでしたが、高校の周りを車でゆっくり走りながらとりなしの祈りを捧げました。スポーツ大会をしていた体育館に十字架が掲げてあったので、将来この十字架を思い出して、教会に行く人があらわれて欲しいと願わずにはいられませんでした。

午後は公園に伝道へ行きましたが、残念ながら子供たちはいませんでした。そこで計画を変更して、場所を町の中心部（駅周辺、学校の近く、スーパーの近く）に変えてトラクトを配りながら、個人伝道をしました。チームのメンバーが下校中の子供たちに大胆に福音を語り、招きに応答して6人が救われるという神のみわざを見たことを聞き、本当に嬉しく、神様を賛美しました！

夜は私が牧会している余市カナンの丘キリスト教会の祈り会で賛美、証し、メッセージ、祈りをチームのメンバーに導いてもらいました。聖霊様の臨在で満ちた集会となり、本当に感謝でした。4人が教会に泊まり、教会で奉仕し、地域に出て行って働きをしたことによって、教会と余市町の両方にとって霊的打ち破りと祝福の時となり、とても感謝でした。

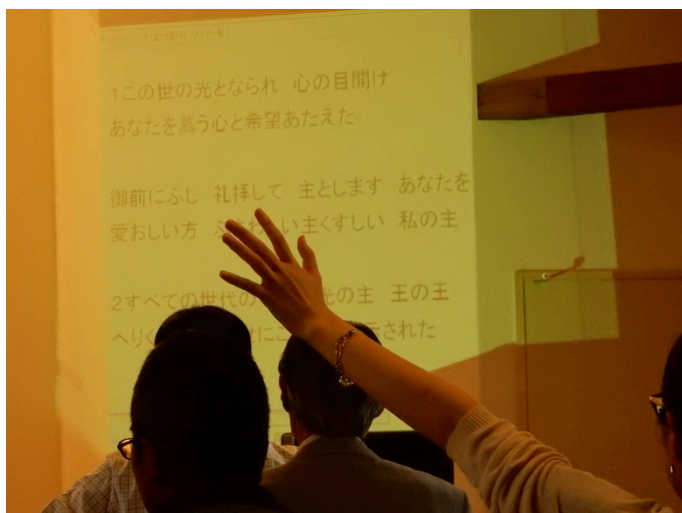
土曜日は主に移動日で、積丹の神威岬経由で留寿都村へ行きました。神威岬では天気が悪く観光をあきらめかけましたが、チームメンバーがあきらめないで天候のために祈ると、天気が回復し、観光をすることができ、素晴らしい景色を楽しむことができました！ 何と終わり頃には晴れてきました。まさにハレルヤでした。

そして留寿都にあるシオンクリスチャンセンターに着きました。素晴らしい教会堂でした。佳子先生（牧師夫人）と教会の姉妹が、私たちを暖かく出迎えてくださいました。チームのメンバーが賛美をしている時に、私は教会の歴史や現状の話をはじめ、本当にたくさんの話をお聞きかせいただき、田舎伝道の大変さを改めて思い知ると同時に、立ち続け、やり続けることの大切さを本当に教えられ、励まされ勇気づけられました。

日曜の礼拝では、チームで賛美と説教の奉仕をさせていただきました。賛美と説教の両方に油注ぎがあり、聖霊様に触れられて泣いていた方がいたようです。私は説教担当でしたが、十字架の説教を語りました。説教後に、何人かの方々が私に「説教を通して過去に生きるのではなく、現在に生きることの大切さを語られました」と言ってくださり、とても感謝でした。

午後は証しの集会を持たせていただき、メンバー全員が救いや献身の証をしました。これは皆さんに喜ばれ、大きな励ましとなったようでした。その後も祈りや交わりが続き、楽しい時を過ごすことができました。佐久間先生ともお交わりを持たせていただき、先生から励ましの言葉をかけていただいたりして、大きな慰めを受けました。教会員の方々と昔からの知り合いのように親しく話をさせていただき、本当に楽しかったです。今後も佐久間先生ご夫妻とシオンクリスチャンセンターと関係を持たせていただけることを心から感謝しております。

送り出し祈りをもって支えてくださった学院の先生方とスタッフの方々にも感謝致します。すべての栄光を主に返しします。



2年 小川 拓実

שלום シャローム！今回 チーム5人で余市・留寿都へアウトリーチに行く機会が与えられたことを感謝します。準備を進めていく上でチームの中で与えられたみことばはマタイの福音書 10:11～12 平安の子を探すみことばでした。1日目～3日目までは余市のカナンの丘キリスト教会で泊まり、初日は教会の周辺をプレイヤーウォークをしながら近所の人に、農家の人に話しかけ伝道をしていきました。そんな中、チームでひとりの農家のおばあちゃんに出会いました。話を聞き、最後には平安を祈るあいさつ、祝福を祈ることができました。午後は農場でさくらんぼの収穫、2日目の朝は北星高校を訪問し、北星高校の周りをプレイヤードライブしました。その時、私は祈りの中で異言の解き明かして「御国のかぎ」ということばが与えられました。マタイの福音書 16:19のみことばを宣言し賛美し、この地に御国が解き放たれることを宣言しました。この時、私は祈りの重要さをこのみことばを通してさらに深く知ることができました。夜は祈り会で賛美と祈りをチームが導き私は祈り会でショートメッセージをさせていただきます。感謝します。

3日目からはルスツへ移動。シオンクリスチャンセンターで泊まりました。その日の夜、デボーションの時間に次の日の聖日礼拝のためにチームで祈っていました。私はルカの福音書 19:10の「人の子は失われた人を探して救うために来たのです」このみことばを示されました。それからこの教会に失われた子が来られるように、失われた子を見つけることができるように神様から祈るように導かれました。私は主が何か明日なされることを期待し、就寝しました。日曜日を迎えました。礼拝の準備をしていると、ひとりの青年が教会に入ってきました。すると、教会の方がみな一斉にその兄弟に駆け寄り「久しぶり！」「元気になっていた？」「帰ってきたのね～」と嬉しく声をかける姿、涙を流している姿を見ました。後から話を聞くと、その青年はずっと教会に来ていたがある日になって、教会から離れてしまい、その日に3年ぶりに教会に来ることができたということでした。わたしはその話を聞いて、昨日与えられたルカの福音書 19:10のみことばを思い出しました。まさに、失われた子が教会にイエス様のもとに帰ってきたことを目撃し、みことばの意味が分かり、イエス様に感謝しました。

午後は集会の時をもち、賛美、チーム全員がそれぞれ救いと献身の証をしていき 最後にチームで祈りの導きをしました。その時、教会員の方と共に牧師先生のために祈る時をもちました。教会員の方が涙を流して祈り、最後は私たちが教会の方と牧師先生に祈ってもらう時が与えられました、その時、私は暖かいものを感じ、今まで準備していく上で抱えていたアウトリーチに対するプレッシャーや不安が、心の重荷が取り払われたものを感じました。主の声を聞いて励まされ 涙が流れ主の愛を深く感じ、平安の時でした！

私は今回のアウトリーチで出会いがあり、大胆に福音を語り、アウトリーチを通して疲れが癒されたことを感謝します。また、このチームの特徴が預言的であり、みなそれぞれに与えられた賜物を生かすことができたことを感謝します。すべての栄光を主にお返しいたします！ハレルヤ！

マタイの福音書 10:11～12

「どんな町や村に入っても、そこでだれか適当な人かを調べて、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。その家に入るときには、平安を祈るあいさつをしなさい。」

1年 岩本 未優

ハレルヤ感謝します。今回、アウトリーチ先で行かせていただいたのは、道内の余市、ルスツでした。余市に着いて初日にさくらんぼの収穫のお手伝いをさせていただきました。さくらんぼを収穫していて感じた事は、沢山実っているように見えたが、よく見るとまだ裏が白っぽかったり、逆に腐っていたりしたのもありました。本当に食べごろで良いさくらんぼを見つけて収穫できるものを探すという行動に、伝道した人達もこのように時期がぴったりと合っている方もあれば、そうでなくもう少しおいていい時期になったら収穫される方、また主が必要なのに伝道できていなくて腐っていくかもしれないと思われました。また、どのさくらんぼもしっかりと木に繋がっているからこそ実がなり育っていつていること、つまり、主にしっかりと繋がりが続ける大切さを改めて学ばされました。感謝します。また、余市の北星高校でスポーツ大会に見学させていただく機会がありました。その時に思ったことは、高校生みんなが楽しくスポーツをしていて、一致しているように見えたが、彼らの目がとっても悲しそうでした。もし、彼らがスポーツ大会や、行事、イベントがなかったら、何を目的に過ごすのだろうかかと虚しく感じました。みんなでこの高校の為にとりなしの祈りをしよう決めて学校の周りを何周もして祈り、とりなしました。少し高校の出来事で悲しくなっていたが、その日に別のところでトラクトを配っていた時に、北星高校の人と出会うことができました。彼らは高校の帰りで本当にその高校の人達に出会い喋れたことに感謝しました。一般的には、たまたま会ったと言われるかもしれませんが、主が出会わしてくださった事に心から感謝します。本当に嬉しかったです。余市では沢山の事を体験し、また救いを見ることができたことに心から感謝します。

ルスツでも神様のなされた素晴らしい事を見たり体験することができました。また、個人的にとっても励まされ、心がとっても落ち着いた安息的な時を過ごすことができました。ルスツの教会、シオンクリスチャンセンターに来てすぐに、礼拝の準備のため、賛美を練習させていただいた時から主の臨在がこの教会に満ち溢れているなどと思い感じました。また日曜日の午後に祈り、証のときを持たたことに心から主に感謝します。祈りの時に主の愛と励ましをうけました。本当に主はこのシオンクリスチャンセンターの皆さんを愛されていると強く感じました。また、皆さんと交わるととても素晴らしい時間となりました。まるで昔から知っていたかのように交わりがもてたことに主に感謝します。

のアウトリーチで本当に成長できました。またとっても恵まれた事も感じました。本当に主が呼んでおられて、素晴らしい事を沢山経験させてくださった事に心から感謝します。また、アウトリーチが始まる前から終わってから主を守られていたことに感謝します。主に全ての栄光をお返しいたします。ハレルヤ！



2年 鷓鴣 文

今回のアウトリーチは、7/7-7/11日と4泊5日間の旅でした。私たち5名は「愛をもってエステルのように平和の子として祝福を結び広げよう」というテーマを基に進めておりました。このチームは預言的という特徴もあり、祈りつつ迎えたアウトリーチでしたが、まさに御霊の働きと恵みにより突き抜け、主のなされる業を見た時となりました。

初めに、チームのお一人であられる和田先生の牧会しておられる余市カナン教会の丘キリスト教会に向い、すてきな農園、またご家族の温かいご配慮に癒しの空間でありました。私たちは着いてすぐプレイヤーウォーキングを行い、トラクト配りや交わり、また地域の方に直接祈る時が与えられました。夜の祈祷会では、守りの中、のびのびと賛美をし、祈り、証やメッセージととてもいい経験となり、またよきあたたかな交わりが与えられたように感じます。余市では、豊かな自然に囲まれ、食事にも祝され、さらに、サクランボ収穫体験など、まさにリゾート地に来たような心地でした。そればかりでなく、地域の高校であります北星高校に赴いた際、皆心動かされ、受け取っていた御言葉や、祈りの中での啓示もあり、泉が再び湧き上がる祈りまた解放の祈りなど、周囲を回り霊的な分野においても働く機会が与えられ、バランスのよい旅となったように感じます。祈りの後、北星高校の学生に道で出会い、トラクトを配ることが出来、イエス様の名を伝えることが出来ました。その後の伝道の際、この地では、多くのトラクトを配ることができ、6名の子どもが救いの決心をし、共にイエス様を受け入れる祈りをしました。

次に留寿都へ向いました。ここでも着いた時から本当に温かく迎えて下さり、祝福を受け、溢れるほどにおもてなしを受け、与えられ、与えられたただ恵みでありました。この教会では、本当に主の節理の中でこの地に来させていただいたという事がありありとわかる出来事を沢山体験させていただきました。こちらの教会では、預言が現実になっていくことを見ました。今回、一つの事について皆それぞれに夢や、御言葉、さまざまな角度から主の語りかけを受けておりました。それは「再び失われた子が帰ってくる、救い」ということでした。点と点が合わさり、線となり、翌日それは実際におこりました。またこの教会の通ってきたプロセスをお聞きする時が与えられ、心注ぎ、共に祈り、また多く交わる機会が与えられました。主にある家族とのすてきな出会いに感謝いたします。また留寿都では礼拝のご奉仕に携わらせていただき、証、また祈りの導きをさせていただきました。ただただ涙と祝福の時となり、この旅を通して主のすばらしさを更に体験いたしました。

この旅においてマタイ 10:11:12 がチームに与えられており、主が恵の中で、祝福の源として遣わされ、その祝福を幾倍にも増やし、養い、その御手の中で、御霊の圧倒的なお働きにより、神の国のお働きに携わらせて頂いた旅となりました。またこうして学院という覆いのもと、守られ、様々な指導や、導き、助け、また祈りのもとに、旅に遣わされ、守られている恵みを本当に感謝いたします。すべての栄光を主にお返しします。シャローム



旭川 アウトリーチ

2016/7/7-7/11



〈旭川チーム〉

7月7日(木)

8:00 学院出発
11:00 丘の上チャペル着
11:40 昼食
13:30 作業(片付け、看板作り)
16:30 旭川駅伝道(~18:00)
19:00 万葉の湯、夕食
21:45 分かち合い(~22:30)

7月8日(金)

6:45 分かち合い
7:45 小学校前にてチラシ配り (~8:20)
8:30 朝食
9:30 作業 (片付け、看板作り、大掃除)
12:15 昼食
13:30 作業 (片付け、看板作り、大掃除)
18:00 夕食
19:30 こがね湯、買い出し
21:00 分かち合い (~22:00)

7月9日(土)

7:00 分かち合い
7:45 スキット練習
8:15 朝食
9:10 作業 (片付け、看板作り、大掃除)
11:40 子どもプログラムミーティング
13:00 昼食
14:00 作業 (片付け、看板作り、大掃除)
18:00 夕食
18:45 賛美練習
20:00 こがね湯、買い出し
21:00 分かち合い(~22:00)

7月10日(日)

7:00 分かち合い
7:45 朝食
9:00 神居キリスト教会子供プログラム
10:30 礼拝出席 (賛美、証、スキット)
12:30 昼食
13:30 ゴスペル練習にてスキット
14:30 さくらんぼ狩り、休息
18:00 夕食
19:00 こがね湯
21:00 分かち合い(~22:00)

7月11日(月)

7:00 分かち合い
8:15 朝食
9:00 掃除
10:30 教会挨拶
美瑛、富良野観光
19:30 学院着



1年 本間 義道

今回、4泊5日の旭川アウトリーチに行ってきました。そこで、伝道や丘の上のチャペルでの奉仕を通して、たくさんの事を体験することが出来ました。

アウトリーチ1日目に旭川駅で伝道をしてチラシ配りやスキットしました。私は、今までに伝道をするとき、恐れや不安などがあり、チラシを配るときも、3人ぐらいにしか配ることが出来ませんでした。なので、今回も3人ぐらいにしか配ることが出来ないと思っていました。しかし、伝道を始める前にみんなが集まってお祈りをしているときに、イエス様だけに目を留めなさいという思いがきました。また、テモテⅡ1章8、12、の御言葉が浮かんできました。

1:8 ですから、あなたは、私たちの主をあかしすることや、私が主の囚人であることを恥じてはいけません。むしろ、神の力によって、福音のために私と苦しみをともしてください。

1:12 そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信しているからです。

これらのこと糧としてとてもたくさんの人にチラシを配ったりすることができました。

伝道を通して成長することが出来ました。

そして、丘の上チャペルでの奉仕をして思ったことは、一人一人ができることをして、キリストの各器官として働きをすることが大切だと学びました。

I コリ

12:27 あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。

このような体験を通して、神様の素晴らしさや御言葉の力、教会に仕える喜びなどを学ぶことが出来ました。これら、アウトリーチで学んだことなどをこれからの働きに生かしていきたいと思います。

5日間の間守ってくださった、神様に感謝します。



ハレルヤ。主のみ名を賛美します。私は今回、旭川市にある神居キリスト教会、丘の上チャペルに行ってきました。4泊5日という短いスケジュールでしたが多くのことを学び、また経験することが出来ました。その中から印象に残っていることを証ししていきたいと思います。まず、私たちは初日の夕方16時ぐらいから旭川駅に行って伝道をするのを計画していました。私は、準備段階の時には旭川駅で伝道をするのとても楽しみで期待していました。しかし、アウトリーチに行く日が近づくにつれ、私の心の中に恐れや不安感が出てきました。私はチームのリーダーだったので不安要素が沢山ありました。路傍伝道をする時、警察に止められたらどうしよう…トラクト配りをする時、拒否されたらどうしよう…スキットをやる時、音量をこれくらい出しても大丈夫だろうか…私はそのような気持ちを抱かせるのはサタンからの攻撃だと思い、祈り備えていこうと思いました。祈りの中でその不安は消されていきましたが、心の隅にちょっと残っていました。その気持ちを抱えたまま、私はアウトリーチ本番を迎えました。旭川駅で伝道をする時間になって私は神さまに祈りました。「神さま、あなたが私たちを導いてください。」このように祈った後、チームみんなで旭川駅に向けて出発しました。そして旭川駅に着いてから、最初にみんなで賛美をしました。その賛美は私が導くことになっていました。私は路傍伝道で、しかもギターをもって賛美をするのは初めての経験でした。私は、初めは誰か別の人がやった方が良く心の中では思っていたのですが、これも主の導きだと思い賛美をリードしました。その時、私の心の中にあつた不安や恐れがなくなり、人目も気にせずただ主を賛美していました。そして、賛美をした後、恐れや不安はなくなって代わりに喜びと神さまからの平安が心に満ち溢れました。この時、私は打ち破りを体験しました。私たちは賛美をしているチームとトラクト配るチームに分かれ路傍伝道を開始しました。私はそのまま賛美をしていたのですが、早くトラクト配りをしたいと思うようになっていました。トラクト配りの時も、積極的に配ることが出来ました。それは、私の中で大きな一歩と思います。そのあと、私たちはKING OF HEARTというスキットを2回旭川駅で行うことが出来ました。その時も、私の心の中には緊張も恐れもなく、大胆にすることが出来ました。この旭川駅伝道を通して主の御業を見ることが出来ました。感謝します。そしてもうひとつ印象に残っているのは、チームメンバー一人一人のことです。

今回、私たちは6名のメンバーでアウトリーチに行きました。その中には、4月に入学したばかりの人もいれば、7月に卒業した人もいました。そして、色んな都道府県から来ています。普通では、会うことも接点を持つこともできません。でも、神さまの働き人となるために一人一人が集められ、共にアウトリーチに行けていることに驚きを感じ、これは偶然ではなく神さまの計画があるのだと思い、神さまに感謝しました。そして、アウトリーチは決して一人ではできないと思いました。イエスさまも弟子たちを派遣される時一人ではなく、二人で行かせました。それと同じように伝道も、1人でやるのではなくチームミニストリーなんだと思われました。それぞれに神さまから与えられた賜物があり、また役割があります。私たち一人一人が各器官であり、キリストの体の一部なんだとすごく思わされたアウトリーチでした。私は今回、このメンバーで行けたこと、そしてこのメンバーを北海道に導いてくださった神さま感謝します。この関係を卒業してからも保っていききたいと切に願いました。すべての日程を守り導いてくださった神さまに感謝します。ハレルヤ！！

1年 プーチ 聖美

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ 5:16)

今回の4泊5日の旭川アウトリーチを通して一番強く印象に残り、学べたことは、チームでの働きの強さ、そして奉仕を通して礼拝するという心を学べたことでした。

私たちのチームは朝と夜に分かち合いの時を持ち、分かち合いのテーマ箇所はマタイによる福音書4章～11章でした。イエス様の宣教の始まりからイエス様の教え、奇跡をチームのみんなと分かち合っていく中でイエス様は宣教が始まる前に40日の断食をし、サタンの試みに会い、弟子を作り、群衆に教えを説いていったのを見ていきました。私たちもそれぞれアウトリーチをする前に断食をし、それぞれの弱さが示され、一人一人弱さと向き合ってからこのアウトリーチを迎えたと思います。その中で私自身もたくさんの弱さを見せられ、祈りの中で「一人一人の打ち破り」という思いが強く与えられていきました。アウトリーチ1日目私たちは旭川駅で伝道、またスキットをしましたが、夜の分かち合いの時にチームの一人一人がそれぞれの弱さの中で打ち破ることができたという証を聞いたことが何よりもの喜びでした。

「人に見せるために人前で善行しないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。」(マタイ 6:1)

旭川駅前伝道や礼拝奉仕、子どもプログラム以外の時間をほぼ教会の大掃除や片付け、看板作りに費やした今回のアウトリーチで自分でも驚くほど教会を愛する気持ちが与えられ、主の臨在を感じ続けることができました。体力的にはきついものもありましたが、一切苦に感じることはなく、教会の片隅を誰にも見られることなく黙々と掃除するチームメンバーの姿を見て込み上げるものを感じ、人ではなく主のために行っていること、そして奉仕を通して主に礼拝を捧げているという姿を見、また自分もそのような心を持って奉仕することができました。その奉仕の中で主がどれほど神居キリスト教会を愛し、一人一人を愛しているかを知ることができました。

「人の子が来て食べたり飲んだりしていると、『あれ見よ。食いしんぼうの大酒飲み、取税人や罪人の仲間だ』と言います。でも、知恵の正しいことは、その行いが証明します。」(マタイ 11:9)

今回私はこのみことばにあるように知恵の正しさはその人の見た目や言葉が証明するのではなく、その人の行いであるということをチームメンバー一人一人の働きから見ることができました。奉仕一つ一つはそのもの自体に大きい小さいがあるのではなく、それぞれの賜物があり、その一つ一つが神様にささげられるべき礼拝であること学ぶだけでなく体験することができ、また言葉などではなく行動を通してあrawす人になりたいと強く思うことができました。

礼拝の中で福森先生が「私たちはキリストの体の各器官である」とメッセージされているのを聞いたとき、今回の旭川アウトリーチで主がそれを見せてくださり、また体験させてくださったと受け取ることができ、感謝することができました。

福森先生をはじめ、神居キリスト教会のみなさん、チームメンバー、そして最初から最後まで導いてくださった主に感謝し、すべての栄光を主に返しいたします。

2年 石井 敏一

今回、初めて私たちは旭川の教会（神居キリスト教会）に5日間お世話になりました。主にある6名（吉村・プーチ・藤原・本間・石井夫妻）の勇士達が主の働きをしました。第一日目の木曜日、高速道路を利用した場合は2時間で行く事が出来ますが、経費節約の為に一般道を利用し3時間要して行きました。8時に出発して順調に走って、予定時間（11時着）に着く事が出来て感謝です。

最初に宿泊場所と聖日礼拝を捧げた『丘の上チャペル』の建物には驚かされました。建てられた場所・建てられた方法・・・その信仰には、ただただ敬服するのみでありました。チャペルに到着した後、チャペルにて持参した昼食（サンドイッチなど）をお腹いっぱい食べ、これから始まる奉仕や伝道に備えました。チャペルでの作業を終えて車にて移動し、16時頃から旭川駅前伝道をしました。真新しい駅舎を後ろにして「スキット」を2回する事が出来ました。神の前になされた奉仕なのですが、何よりも私自身が感動し力付けられました。伝道奉仕が終わり一日の疲れをいやす為に銭湯に行き湯船に浸かりました。その後、夕食をしてメンバーとの楽しい交わりをした後、「丘の上チャペル」に帰りました。初日の夜から気持ちよく熟睡する事が出来て良かったです。二日目の金曜日、わたしは朝4時頃に目が覚め近所を散歩しました。気持ちの良い清々しい時間を持つ事が出来ました。（この事は、今回のアウトリーチでの私の日課になりました。）伝道奉仕の件では、近所の小学校の登校時間（7時半頃）に合わせて、日曜日の朝に行われる「神居キリスト教会」のCS集会の案内ビラを校門の前にて配布させていただきました。7割位の小学生の方々に案内ビラを受け取って頂き神の「栄光」を現わしました、神に「栄光」をお返しする事が出来ました。配布後チャペルに帰り、少し遅い朝食を頂きました。その後10時頃から道路に立てる教会案内の看板製作を行いました。慣れない作業なので、上手く出来るのかな、と心配をしましたが少しずつ上手くなって行きました。夕食後、銭湯に行きました。（今回利用させていただいた銭湯でのお風呂タイムは、私たちが寝る前の貴重な日課になりました。）三日目の土曜日は、明日に備えて「スキット」の練習や礼拝で歌われる賛美の3曲を練習しました。夕食後に明日の司会の方（この秋に結婚される予定の福森先生の娘さん）がチャペルに来られて、あす朝のCS集会と礼拝の時の打ち合わせを行いました。そして有意義な楽しい交わりを持つ事が出来ました。四日目、10時半からの礼拝には、今回年配の方が来られるので、急ぎよ私と家内に「救いの証し」をして下さい、との依頼が牧師先生からありました。予定に無かったので緊張をいたしましたが無事に証しする事が出来ました。また、「スキット」も殆ど間違いなく終わりました。そして、神に「栄光」を帰す事が出来ました。ハレルヤ！最終日の月曜日。学院への帰り道にある美瑛と富良野の観光地に寄って無事に帰って来る事ができました。今回のこの「旭川アウトリーチ」に参加出来た事に対して、私は神に感謝と賛美を捧げ栄光を主に帰します。

2年 石井 洋子

旭川で過ごした4泊5日のアウトリーチは、大変恵まれ、楽しい良い思い出の時となりました。初日の旭川駅前でのビラ配布とスキットを通しての伝道活動は、賛美を最初にして自由な雰囲気でのビラ配布をし、スキットをするという流れで行いました。振り返りスキットを見ながら通って行く人、立ち止まって見つめる人、一度通り過ぎて又戻って来て見て行く人と様々でしたが、関心を持たれたことは確かでした。そのような中で、ただビラを配布するだけでなく、聖霊さまに導かれ、ベンチに腰を掛けている人に話しかけイエス様の素晴らしさを語り、3名の方にそれぞれの人の必要に対して祈ることができました。今までビラ配布の時に未信者の方の為に祈るという経験をしたことの無かった私には、ほんとうに貴重な体験でした。引き続きその方達のために祈りたいと思っています。

今回の旭川チームは、とても一致出来ていたと思いますが、それは、事前の準備段階でのミーティング、スキットの練習、祈り会など共に集まる機会が多かった事が功を奏したのだと思います。また、作業の役割分担を明確にし、それぞれが徹する事でスムーズに出来たように思います。

私はメンバーの胃袋を満たす食事係でしたが、分量を間違え倍量のスパゲティを作ってしまった、昼夜共にスパゲティという失敗もありましたが、文句も言わずに黙々と食べて下さったメンバーに感謝でした。他のメンバー達は、結婚式準備という直接のものではなく、それに備えての新しい看板作りと会堂掃除、そして納骨堂建設の為に廃材の片付けなどを黙々とこなされました。一生懸命主に仕える姿を見る事が出来とても励まされました。

礼拝での奉仕も、今までで一番良かったスキットを見る事が出来ました。証の奉仕については、急ぎよ変更になり主人と私がすることになりました。アウトリーチのために祈っている時に、「選び分れた者よ、解放を告げ知らせよ」というお言葉を主から頂いていましたので導かれるまま証することが出来ました。礼拝後に牧師夫人から、「あなたは素晴らしい証をもっているのです、もっとよくまとめて語るならもっと用いられますよ」という助言をいただきました。そして、午後からのゴスペルの練習に未信者の方が来られるということで、スキットと証をもう一度して下さいと依頼され、用いてくださったことに感謝しました。

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ 5:16)

このみ言葉を掲げて臨んだアウトリーチで、主が力を与えてくださり用いてくださったことを喜んでいきます。すべての奉仕、また最終日の美瑛・富良野観光も恵まれ、とても楽しく有意義に過ごせたアウトリーチになりました。主と神居キリスト教会のみなさまに感謝いたします。ハレルヤ！！



1年 藤原 聖也

今年の国内アウトリーチは、弘前チーム、余市・ルスツチーム、そして旭川チームに分かれました。私は、石井ご夫妻、プーチさん、吉村君、本間君と共に旭川に遣わされました。丘の上チャペル到着し、福森先生の御指導の下、教会看板に貼る文字の作成と看板のペンキ塗りを二手に分かれて行いました。私はペンキ塗りの方でしたが、初めての体験だったので、貴重な物となりました。その後、旭川駅前に行き、片方が賛美を捧げながら、もう片方がトラクト配りをするという事を交代で行いました。最後には、「キング・オブ・ハート」というパントマイム劇を二度行いました。この駅前伝道を通して、個人的に二つ打ち破りを体験することが出来ました。一つは今まで自分が人にトラクトを配れなかった理由が分かり、少しずつ積極的に渡す事が出来ました。賛美をしている中で、公の場所で預言的賛美が出来ました。その後、夕食を兼ねて、スーパー銭湯で疲れを癒し、丘の上チャペルへ戻り、分かち合いをし、CSのチラシの準備をしました。

二日目は、分かち合いをしてから、朝の登校時間に小学校に行き、CSのチラシを配りました。子供たちは素直で、大半が快く受け取ってくれました。朝食を食べ、再び作業に取り掛かりました。瓦礫撤去をするチームと、教会看板の作成をするチームと分かれました。お昼は、美味しい冷やし中華を食べる恵みに預かり、休憩後、会堂掃除へ取り掛かりました。虫の残骸が散らばっており、掃除に時間を費やしました。その後は、二手に分かれて、納骨堂の柱作りと、教会看板作製を行いました。皆でホットケーキを食べ、再び会堂掃除をしました。掃除の後は、夕食まで、自由に過ごす事が出来、感謝でした。洋子さん特製の最高な夕食を頂いた後、地元の銭湯に行き、夜の分かち合いをして一日を終えました。

三日目は分かち合い後、朝食を頂きました。家族の団らんのように、心温まるひとときでした。その後は、教会看板作製と、茂みに散らばっている、巨大な木材を移動する作業を行いました。木材の移動作業は、私たちが、巨大な木材をブルドーザのシャベルに置き、福森先生がある場所に木材を降ろす、という流れで進みました。そして教会周りにあるガラクタを撤去し、神居キリスト教会へ向かい、子ども礼拝の流れを確認しました。神居キリスト教会は、普段子ども礼拝の為に使われています。その後、丘の上チャペル内の清掃と、教会看板作りの仕上げを行いました。夜は、夕食、銭湯、分かち合い、自由時間といったパターンで過ごしました。

四日目は神居キリスト教会で子ども礼拝を行いました。ゲーム、賛美、スイカ割り、吉村君と私の証、そして洋子さんの紙芝居を交えてのメッセージといったプログラムで、子供たちも熱心に話を聞いていました。子供たちは合計で4名でした。その後、丘の上チャペルの、礼拝に出席しました。私たちは賛美をし、石井ご夫妻が素晴らしい証をし、「キング・オブ・ハート」の劇をしました。福森先生が説教の中で、劇の説明をして下さり、神の言葉が鮮やかに魂に響いてきました。その後は、交わりを持ち、サクランボ狩りを子ども礼拝に来ていた男の子の一人と行うことが出来ました。午後のゴスペルワークショップでは、未信者が多数来ているということで、「キング・オブ・ハート」を再び上演しました。

五日目は、教会を掃除し、美瑛・富良野観光を満喫しました。夕食を外で過ごした後、無事学院に帰ってきました。今回、アウトリーチというものを初めて体験しましたが、主の忠実さと恵み、そして主にある家族、仲間と奉仕出来、本当に素晴らしいときを過ごすことが出来ました。皆さんの祈りに支えられて本当に感謝します。



弘前 アウトリーチ

2016/7/6-11



弘前アウトリーチチーム奉仕スケジュール

7/7(木)

7:30	フェリーにて八戸に到着
13:30	弘前シオン教会到着。高木先生と交わり。打ち合わせ
18:20	夕飯
19:00-21:00	温泉



7日総評:

行きのフェリーが揺れたこともあり、移動と体調回復に努めた1日でした。
先生との打ち合わせのほかは、ほぼ休息にあてました。

7/8(金)

9:40	教会のおもちゃ除菌・掃除
10:30	教会付近で祈りの歩行
13:00	とりなし観光に出発
13:50	弘前城天守閣での祈り。弘前市の主権が神にあることを宣言
14:00-17:00	弘前市を観光



8日総評:

午前中は教会近辺を歩きながら、午後は弘前市の権威を象徴する弘前城で、それぞれ祈りました。
土・日が本格的な奉仕の為、その後はあまり無理せず、観光などで弘前市を楽しみました。

7/9(土)

9:00-11:30	午後のキッズパフェパーティーのための準備 並行して日曜日の愛餐のカレー作り
14:00-17:00	キッズパフェパーティー！ ゲームを約40分(耕地担当)、その後はみんなでパフェ



9日総評:

キッズのためのパフェパーティーをメインに、1日忙しく奉仕しました。子どもたちが10人前後来て、ゲームやパフェを楽しみました。
関係づくりのための良い機会となり、感謝でした。教会に初めて来た子もいて感謝！ 次の日のキッズ礼拝も来たいと言うほど楽しんでいました(実際には風邪をひいてしまって来れませんでした)。子どもたちが福音につながっていくことを祈ります。

7/10(日)

9:15-9:50	キッズ礼拝 ゲーム: 清野耕地 賛美: 吉岡はるか メッセージ: 本村寛子
10:45-12:00	聖日礼拝 スキット「Redeemer」 証し: 吉岡はるか、仲宗根昇平 特別賛美「心から」: 全員 ※礼拝賛美のアシボ奉仕に、飛び入りではるかが参加
12:00-15:00	食事と交わり
15:00-16:00	感謝の心を込めて、教会を掃除
16:00-21:00	高木先生宅でBBQ! 超楽しい交わりの時
21:00-22:00	諒の実家から近い温泉で骨休め



10日総評:

キッズ礼拝ではゲーム、賛美、メッセージ、ほぼすべてのプログラムを任せて下さり、奉仕しました。

主日礼拝でも奉仕をしました。特に、証しはクリスチャンホーム育ちの視点から語られ、教会のクリスチャンホームの子、また親の方たちへの良い励ましとなったようです。

そして夕飯はなんと高木先生が自宅に招いてくださりバーベキュー! 最高の時でした。



7/11(月)

9:00	教会出発。諒君は実家へ、他の皆は学院へ
12:20	八戸港到着。乗船
19:00-19:30	甲板にて夕日を楽しむ。主の造られた自然はなんと美しいのか!
20:15	苫小牧到着、学院へ
22:40	学院到着!



11日総評:

午後1時発のフェリーに間に合わないのではないかと肝を冷やす場面もありましたが、時を支配される主の配慮により無事乗船に成功(?)。

もうすぐ苫小牧に到着する際に見た夕日はとても綺麗で、恵まれました。

振り返って

毎朝デボーションと祈り、夜も祈りと分かち合いの時を持ちました。

高木先生が終始行動を共にして下さり、とても恵まれました!

卒業生でもある先生の人生は、私たちが今後どのように進んでいくべきか悩む中で素晴らしい模範となりました。心から感謝しています。

全行程、主の恵みが満ち溢れていました。皆さん、どうも「お楽しみ様」でした!

2年 本村 寛子

初めての国内アウトリーチ、初めての青森県弘前市に訪れた事、素晴らしいチームに恵まれ、感謝です。アウトリーチの最初のイメージは外に出て、チラシ配りや路傍伝道するという意気込みでしたが、外で伝道できないと聞いて、がっかりしました。しかし、主は迅速に私たちの思いを変えて下さり、遣わされた教会のニーズを聞き、とりなし祈っていくこと、また忙しい中受け入れてくださる牧師さんにへりくだって、謙遜と従順な心で仕えるように、同じ教団の松原先生から助言を頂きました。外に出て、スキットして、伝道するぞーと燃えていた私たちに、弘前市のためにとりなし祈り、牧師、教会に仕えるという思いに変えられていきました。

アウトリーチに行く前から、自分自身に姉妹から預言された言葉が、‘自分の力を捨てて、他の人に分け与える事で神様の栄光があらわされる’と聞いていました。出発する二日前にチームに向けて預言された言葉も、同じ姉妹から‘力を捨てる！主の力よ来たれ、主の力よ来たれ、と主が言われる’という共通したものでした。一緒に5日間みんなで過ごして気づいた事は、それぞれ自分の力でやれる能力が与えられていて、その力を全て主に明け渡した時に、神様の栄光が表されるという共通の課題がありました。

神様によって集められた5人は、リーダーとして初めに神様から受け取った事は、チームの一致のために祈るという事でした。一ヶ月ちょっと前から夕食後に15分でも集まって、賛美、弘前市の祝福、またチームの一致のために祈ってきました。スキットの Redeemer は経験者2人いたということもあり、スムーズに配役が決まって練習出来ました。出発三日前から体調を崩し、出発一日前にやっと神様に祈った時に示された事が、悔い改めでした。自覚していなかった罪が明るみになり、この事をチームに告白すると決断したとたんに頭痛と胃の痛みは消えました。みんなに祈られて感謝です。その日の夜にチームに告白し、許しが与えられ、神様から解放を受け取りました。

学院から弘前シオン教会までたどり着くのに片道約11時間以上の道のりは海外アウトリーチを思わせ、移動中は賛美したり、チームの仲が深まっていきました。出迎えてくださった学院の卒業生でもある高木牧師は、本当に素晴らしい方で、在学生の私たちに沢山の体験談を証してくださいました。「小さな事でも、全てにおいて、神様の御国の前進に繋がっていることを忘れないでください。」と最初に言うてくださったので、チームの目標とする御言葉 I コリント10:31~33と先生の言葉が一致してますます主に力を委ねる祈りに集中出来ました。

Prayer Walk では弘前市内、また弘前城はイエス様の権威であると東西南北の方向に向けて祈る事が出来ました。また一日一日のチームでの朝と夜の交わりがとても祝福され、お互いの関係がもっと深まる機会となりました。交わりが深まることで、土曜日に行われたパフェパーティでは互いの賜物を活かして、適材適所に動き、ゲームで大盛り上がりして、子供たちもまたスタッフみんなも喜びでいっぱいでした。教会に一度も訪れたことのない子達やお母さんが来てくれて、今後の繋がりの大きな前進となりました。教会に初めて来て、日曜日にも来ようとしていた男の子が熱で来れなかったけど、最近来てなかった子と高木先生の息子さん達がCSに参加出来て、用意した紙芝居の内容も彼らにぴったりだったことを後ほど牧師婦人から聞きました。日曜礼拝では、Redeemer、証二人、特別賛美をさせて頂き、証に感銘を受けたのが、クリスチャンホームの子供達以上に親に励ましと勇気が与えられた事を聞きました。神様が選んでくださった証する二人、主の備えと御技にハレルヤ！！

高木先生のメッセージはヨハネ11：44から、「人と関わっていこう」というメッセージで、ラザロの包帯を解くのは、イエス様ではなく、私たちの役目であると知りました。救われた後もなお罪や、色々な問題に巻かれている私たちは必ず解く人が必要であると教えてくださいました。昼食後の交わりで、ある姉妹が色々な悩みを話してくれて、牧師婦人とともに神様に委ねる祈りが出来ました。メッセージの実践が出来て、主にハレルヤ！

弘前市に遣わされた私たちは、神様からあふれるばかりの祝福を何倍も受け取る旅となりました。特に先輩からのアドバイスは力強く、牧師になったら孤独にならず、牧師仲間をつくる大切さや、弘前市の牧会する前の七年間訓練を受けた函館の教会の話、そこで大いに砕かれ、謙遜と従順、奉仕をしないで、まず3年間信徒たちとの関係性を築いていった事の大切さ、遣わされた土地を愛する事、地域との関係作りの大切さ、志を与えられたなら、その方向に向かって進んでいく事など、実践されなかつ、牧師として活動されている先生から学ぶことが沢山ありました。後輩思いで、分からないことがあったら協力して下さる姿勢、へりくだり、励まして下さった高木ご夫婦には本当に感謝でいっぱいですし、教会の兄弟姉妹たちも温かく迎えて下さって、神様の愛をさらに知りました。牧師夫婦から本当に最高のチームを神様に送って下さり、また同じメンバーできて欲しいと褒めて下さって、ただただ主の栄光にハレルヤです。この旅でリーダーとしての良き模範を見た事で、私もこのように主に仕え、人を愛する者になっていきたいと思いました。与える者にはさらに主が祝福を与えられる事も見て、知りました。これからも御国の前進のために、自分の力を捨て、主に寄り頼んでいきたいです。弘前市～、神の国前進してる～、ハレルヤ～！！



1年 吉岡 はるか

主の御名を賛美します。今回のアウトリーチは、本当に最初から最後まで主が守り、導いてくださったものでした。そのことを心から感謝します。

私は今回のアウトリーチで、常にひとつのことを語られていました。それは、「自らの力を手放して、主により頼め」ということです。私はこのことを、アウトリーチのための断食をした時から、くり返し、あらゆる方法で語られ続けていました。それでも実際現地に行くまではその意味を計りかね、アウトリーチの様々な事柄や問題を、自分の経験や能力でどうにか対処しようとする自分がいました。しかし、その方法は時にはチームワークを乱し、一致を壊しかねないということに、弘前についた時思い至りました。実際、私が自分の力でできることはほとんどありませんでした。2日目に行ったプレイワークは、そのことを実感するととてもよい機会でした。祈り心をもって歩き回りながら（私たちがその日行ったのはそれだけでした）、主の力が強く働いていることを感じました。私たちが自分の力をもって戦わずとも、主がすでに弘前のために戦ってくださっていました。そしてすでに勝利されていました。主の力により頼んでいくとき、平安と祝福があることを改めて思わされました。

初めの2日間でそのことを実感させられたので、残りの3日間は完全に主により頼んでいこうと決め、常にそのことを心に置き、祈りながら過ごすことが出来ました。主は喜んで御力を発揮してくださいました。土曜日のパフェパーティーの準備の時には大勢のキッズの参加者に恵まれましたし、その中の1人が、翌日の日曜日、家族の予定を押し切ってまで「教会に行きたい」と願ってくれるようになりました。また日曜日には、私と昇平君の証が、思いがけずクリスチャンホームの親御さんたちへの励ましとなり、逆にこちらが励まされました。また最近教会に通っていなかった方が久しぶりに来られ、寛子さんがその方のために祈る機会を与えられるという証も聞くことができました。私たちが主により頼んで仕えていく時に神様がその奉仕を本当に良いことに使ってくださいること、私たちが意図していなかったこと、私たちの力では出来ないことを成して下さることを体験しました。「主に信頼して行動するとき、どんなに小さなことも、全てのことは御国の前進につながる。」私たちに覚えておいてほしいと言って、高木先生が繰り返し語られたその言葉が真実であることを、主はこのアウトリーチ中で証明してくださいました。

高木先生との出会い、またそのご家族との出会いを心から感謝しています。今回高木先生は学院を卒業した私たちの先輩として、たくさんのアドバイスと証とその姿勢をもって、私たちを励ましてくださいました。私たちが共通して持っていた進路に対する不安や疑問にも、丁寧にひとつひとつ応えてくださいました。また、愛と真心をもって私たちを歓迎し、喜び、祝福してくださいました。間違いなく今回一番祝福されたのは、弘前と弘前シオン教会を祝福するために遣わされたはずの、私たちでした。

高木先生はじめ今回のアウトリーチで出会ったすべての人々に、また共に支え合ってくれたチームメイトに、弘前に遣わしてくださった学院に、心から感謝申し上げます。そして今回誰よりも私たちが弘前に行くことを喜び、最初から最後まで共にいてくださった主に、心から感謝と賛美ささげます。ハレルヤ！！



1日目

本日はアウトリーチ1日目です。夜8時に学院を出発してから2時間ぐらい車に乗って苫小牧に行きました。フェリー乗り場で手続きしてから11時に乗船して、12時に出港しました。後は寝るだけで八戸につきます。

2日目

朝7:30に八戸に到着、朝食をとり、9時に八戸を出発しました。12時くらいに弘前に到着して昼食を食べてから弘前シオンについて高木先生と話をしました。高木先生のこれまでのいきさつなどの話を聞きました。午後は自炊するための食材を買いに行き、夕食は親子丼を作りました。夜に近くの銭湯に行き、みんなで疲れを取りました。

3日目

みんなで弘前市のとりなしをするためにプレイヤーウォークと観光をしました。午前は教会の周りをまわって祈りました。午後は弘前城で東西南北に祈った後にいろいろ観光しました。普段何気なく過ごしている場所を霊の目を持って動くというのはなかなか新鮮な気分でした。

4日目

パフェパーティーを行いました。午前の準備では白玉を作りました。白玉を作るのは人生で二度目くらいでした。いびつな形の白玉になりましたが。その後疲れたので少し休みました。本番では来てくれたお友達とゲームをしたり、パフェを食べ終わった後に大暴れしてきました。今までの行程で疲れていたし、学院では全く動かない生活をしていたのでかなりきつかったけれども楽しかったです。

5日目

今日はいろいろとありました。お友達礼拝をしてから日曜礼拝を行い、リディーマーと賛美をしました。昇平とはるかさんの証もありました。その後高木先生のメッセージを聞いた後に教会員の皆さんと昨日作ったカレーを食べました。食べた後に皆さんと交わりをしたり、お友達と遊んだりしました。そしてお世話になった教会の掃除をし終えた後に、高木先生のお宅にお邪魔してバーベキューをしました。その後みんなでお風呂にいった寝ました。このアウトリーチではいろいろありました。少しでも神様の役に立てたならば幸いです。



今回、弘前へと導かれたのは偶然ではありませんでした。間違いなく、主が計画を持って私を弘前へと遣わしたのだという事を強く感じています。弘前に遣わされることが決まった時、私の心には弘前ではなく、他の地域に遣わされたいという思いが正直ありました。しかし主は最善を知っておられ、ご自身の計画を行うために私を弘前に送ったのだとアウトリーチ中に確信できました。

弘前アウトリーチで一番良かったことは、CFNJ 聖書学院を卒業され、弘前シオン教会の牧師として主に仕えている高木秀和先生と出会えたことです。先生を通して様々なことを学ばされ、励まされたりして、祝福するために来たつもりが逆に祝福されてしまったような感覚でした。また、先生は私たちアウトリーチチーム（5人）から祝福を受けようとしている様子はありませんでした。私は、アウトリーチといえば受け入れ先の教会にお願いされたことをこなし、また自分たちで何かアイデアを出してミニストリーをしたり、地域に出て行ってその場所をとりなしたり、チーム一つになって全力でただただその地を祝福して帰ってくるものだというイメージでした。しかし今回のアウトリーチは高木先生を通してよい訓練と学びを受け、まるで超実践的な授業を受けているような感覚で、祝福をたくさん受け取れた素晴らしい時となりました。（もちろん、私たちからも弘前を祝福しました）

特に感動したのは、私たちが将来主の弟子として献身していくために、私たちを整えようとしている高木先生の姿勢を感じ取ることができた事です。本当に私たちが主の弟子として将来献身していくために私たちにアドバイスをしたり、教えたり、模範を示している高木先生の姿はまるで、イエス様が12弟子を訓練し整えている姿と同じように見えました。弟子たちはイエス様からただ教えを聞いていただけではなく、実際にその教えを守っている模範的なイエス様の姿を見たり、自分たちもイエス様と同じことをしようと挑戦してみたりしていました。イエス様が行った弟子訓練は、ただの知識的な学びではなく、とても体感的な学びだったのではないかと思います。そしてまさに、今回のアウトリーチは高木先生を通してイエス様からの直接の訓練を受けているような12弟子感覚でした。これはなかなか体験することのできない絶好の機会だったと確信します。

また、このようにして弟子訓練のような弘前アウトリーチへと主が私を導いて下さった理由は、私の祈りの願いに応えるためであったと思います。私はCFNJ 聖書学院を卒業した人が現在何をしているのか、どんな働きをしているのかとても気になっていました。と言うのも、CFNJ 聖書学院を卒業していった人たちが現在何をしているのかを参考にし、将来献身していくための励ましと可能性と勇気と挑戦と決断とビジョンを受け取りたいからです。CFNJ 聖書学院を卒業する人はこのようになるというモデルがあれば、学院での生活や学びへの態度がとても変わってくると思います。学院卒業後の良いモデルがないために、なんとなく漠然と将来を考え、学び、気づいたらあつという間に卒業して、その後どうしていけばいいのか分からなくなって、結果的に失敗へと陥ってしまいます。



私は、献身したいと強く願っています。学院卒業後に献身することを決断しています。だからこそ、主はその決断と願いに応じて今回弘前シオン教会の牧師先生であり、CFNJ聖書学院卒業生であられる高木先生のもとに私を遣わしたのだと思います。主がこのアウトリーチを通してますます、私をすべてを捧げて主に従っていく献身者の道へと導いているのだと思うと、言葉に表せない喜びです。このアウトリーチを通して具体的にCFNJ聖書学院卒業後の献身者の生き方を見ることができたことに本当に主に感謝しています。素晴らしいチームメイト5人にも、とても感謝しています。

このアウトリーチのために執り成しの祈りをささげて下さった方々に祝福がありますように。受け入れて下さった高木先生とご家族、弘前シオン教会の上に主の繁栄と祝福があふれますように。栄光あれ主に。



1年 清野 耕地

今回、私は青森県弘前市にある弘前シオン教会へ、7月7日から11日までの5日間、アウトリーチに行ってきました。

その中でもっとも感じたことは、「主が私たちを用いようとしておられる」ということでした。アウトリーチ期間だけでなく、学院を卒業後、そして人生すべてにかかわるほど非常に大きなスパンで、主が私を造りかえようとしておられるという大いなる奥義を知らされました。

正直、アウトリーチと言われてもイメージがつかず、弘前市に行って何をするのか？ どんなことができるのか？ と、事前ミーティングの段階ではわからないことだらけでした。

そんな中、フェリーを乗り継いで長旅を終え、弘前シオン教会に到着し、当学院の卒業生である高木先生とお会いし、打ち合わせをする中で、「このために弘前に来たんだ！」とようやく理解しました。

高木先生は10年程前に学院を卒業し、7年ほど函館の教会で訓練の期間を経て、現在の弘前シオン教会に仕えています。備えられ、そして主の御国の前進のために働いているその姿を見て、「自分もこのようになれるんだ！」という模範的姿を見ました。

祝福しに来たはずなのに、早速祝福を受けたのは私たちの方でした。今回の旅が、すべて御心のままに導かれているということを確認することができ、私は安心し、一日目からアウトリーチの大きな成果を見ることができました。

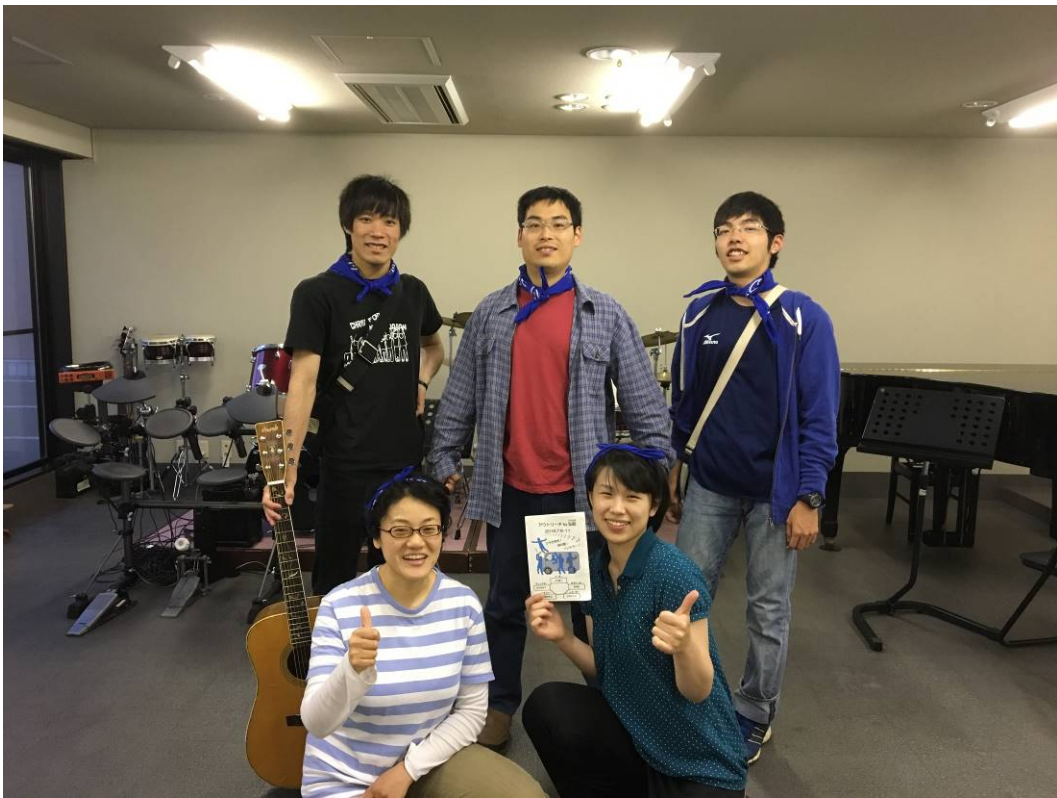
今回のアウトリーチでは、直接的な伝道という機会はほぼありませんでした。救いの実を見るという点では、確かに目に見えるものはありませんでした(土曜日のキッズイベントの奉仕も、関係づくりを重視したもので、福音を語るプログラムはありませんでした)。けれど、主のしもべとして仕えていく時、高木先生の言葉をお借りするならば、「確かに御国は前進して」おり、キリストが栄光を受けられる日が近づいているのです。

「目に見える収穫」というところに目を向けていくなれば、今回のアウトリーチは物足りなく感じるかもしれません。けれど、主の御国が確かに前進していることに目を留めるならば、私たちは感謝し、さらなる祝福の心をもって仕え続けることができます。小さな問題に目を留めるのではなく、常に主が持つておられる大きなご計画に目を留めていくなれば、小さな問題もすべて解決していき、主のよき計らいに目を留めることができます。

土曜日のイベントでは、今まで教会に来られなかった子供が来ることができ、次の日も、家族の予定があるにもかかわらず教会に行きたいというほどまでに楽しんでいました。小さな奉仕、仕える奉仕をしていく中でも、そのような目に見える収穫を主は恵みとして与えてくださり、わたしたちは本当に励まされました。

主は良いお方！ 主は常に私たちに祝福の計画を用意してくださっています。その計画に目を留め、決して小さな問題に振り回されず、主の御国の前進のために働いていきたいという思いを固くされた、素晴らしい旅でした！





アウトリーチチームを受け入れてくださった牧師先生、教会のみなさま
そして祈り支えてくださった方々に感謝を申し上げます。

～SPECIAL THANKS～

余市カナンの丘キリスト教会 和田 一喜牧師
〒046-0002 北海道余市郡余市町登町1931

シオンクリスチャンセンター 佐久間 盛夫牧師
〒048-1731 北海道虻田郡留寿都村字留寿都123-79

神居キリスト教会 福森 光敏牧師
〒070-8014 北海道 旭川市神居4条13丁目2番21号

弘前シオン教会 高木 秀和牧師
〒036-8093 青森県弘前市城東中央2丁目3-9



全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

マルコ 16:15



宗教法人アジアキリスト福音宣教会
クライストフォーザネーションズジャパン

CFNJ 聖書学院

〒061-3216

石狩市花川北6条5丁目157番地

電話 0133-74-1341 mail: office@cfnj.com

ホームページアドレス www.cfnj.com

学院長 鍛治川 利文